

令和2年7月9日（木）
企画振興部交通政策課

第1回大分空港海上アクセス運航事業者選定委員会 会議概要について

1. 委員長の選出について

委員長：吉村 充功（日本文理大学工学部教授）
委員：岩崎 美紀（中小企業診断士）
大野 真人（大分経済同友会交通ネットワーク委員長）
長井 太一（大分コンビナート企業協議会副会長）
矢野 吉治（神戸大学大学院海事科学研究科教授）
吉見 広幸（(株)OMこうべ海上アクセス事業部長）
高屋 博（大分県企画振興部長）
湯地 三子弘（大分県土木建築部長）

2. 大分空港海上アクセス運航事業者の選定方式及び審査基準について

(1) 選定方式

- ・公募型プロポーザル方式（2段階方式）
- ・一次審査：事業提案書を書類審査し、二次審査へ進む応募者を3者選定
- ・二次審査：事業提案書について説明を受け、ヒアリングと書類審査により、最優秀者及び次点者を選定

(2) 主なスケジュール

募集の公告	令和2年	7月10日（金）
説明会の開催		7月17日（金）
参加表明書の提出期限		9月11日（金）
事業提案書の提出期限	10月	9日（金）
一次審査		10月中旬
二次審査		10月下旬
審査結果の公表		10月下旬

(3) 参加資格

- ・単体又は2者以上の共同企業体により参加する者
- ・法人格を有する者
- ・海上運送法の規定に基づく一般旅客定期航路事業の経験がある者 ほか

(4) 提案条件

- ・事業主体は民間事業者とする
- ・事業期間は運航開始後 20 年とする
- ・ホーバークラフト、旅客上屋、整備上屋、駐車場は県が整備し、事業主体に使用させる
- ・事業主体は、運航開始までに航海士及び整備員の訓練を実施する
- ・船舶貸付料及び施設使用料の減免は、民間事業者の提案に基づき県が認める場合は可能とする
- ・運航事業に係る赤字補てんは行わない ほか

(5) 提案課題及び審査基準の考え方

- ①利用者利便の確保（航空便との接続、運賃設定の考え方、欠航時の対応、乗船手続の簡素化、総移動時間の短縮 等）
- ②経営の健全性の確保（職員配置、実施体制、収支計画、資金計画 等）
- ③安全性の確保（運航実績、防災や事故防止対策、安全教育 等）
- ④ホーバークラフトを活用した地域貢献等に関する提案(独創性、実現性 等)
- ⑤船舶貸付料及び施設使用料の納付に関する提案（納付の条件 等）

(6) 審査の公開・講評等

- ・審査（二次審査のプレゼンテーション及びヒアリングを含む）は非公開
- ・審査結果は、二次審査終了後、県ホームページに審査講評と併せて掲載